

# 本部だより

●第44号



マーシャル方面遺族会

<http://mibfa1926.com>



携帯サイト

●発行日:令和3年8月1日 ●発行人:高林芳夫  
●本部:181-0012 東京都三鷹市上連雀8-7-8  
●電話 & FAX:0422-77-8557 ●編集人:鈴木千春



情報提供のお願い・写真の家族を探しています 写真①

ごあいさつ

高林芳夫

皆様コロナ渦の中いかがお過ごしでしょうか？ わが国も遅ればせながらようやくワクチン接種が始まりました。国民全員が接種を受けて、早くコロナが収束してくれることを祈ります。

当会も来年の慰霊祭は是非とも開催したいと考え、役員一同、開催に向けて準備を進めてまいります。慰霊祭の最終的な判断は、次号2月1日号の本部だよりにて発表いたします。

当会ホームページにニューヨークからメールが届きました。それは、「親族の元米兵の遺品を整理していたら日本人の家族写真が出てきた、家族の元へお返ししたい」とのメールでした。早速、会として山村一郎・鈴木千春を中心にチームを作り、家族探しに取り組み、詳細は次ページに掲載しています。皆様からの情報に期待しています。どんな小さな事でも構いません情報をお寄せ下さい。

では来年、4月満開の桜の下で元氣でお会いしましょう。



# 海を越えて帰ってきた77年前の写真

情報提供のお願い・写真の家族を探しています

3月30日、当会HPに一通のメールが届きました。差出人はニューヨーク在住のジャーナリスト、福山万里子さん。



福山万里子さん

ニュースやドキュメンタリー番組の仕事をしていきます。

ある日、福山さんはペンシルベニア州ピッツバーグ郊外に住む、アメリカ人の知人デビッド・ワッセルさん(59才)より連絡を受けました。

「親族の遺品を整理中に、海兵隊だった親戚が、戦中マーシャル諸島で拾ったという写真5枚が出



デビッド・ワッセルさん

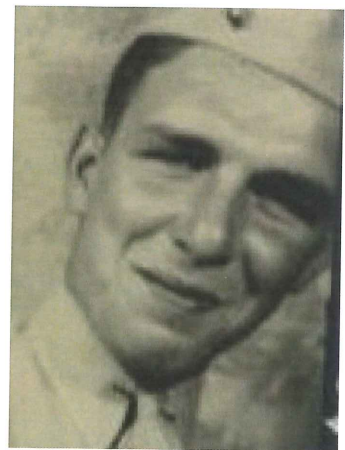
てきた。戦没した日本兵のご家族の写真だと思われるので、ご遺族、または日本の関係者へ返還したい」

写真を拾った米兵の名はハリー・R・ダイニンガーさん。遺品の中には、母親宛の手紙があり、「エニウエトク環礁またはクエゼリン島で1944年2月か3月頃に、日本兵の遺体から回収した」と書かれていました。

所属部隊(第22海兵隊第一大隊C中隊)は、マーシャル戦のあと、 Guam、沖繩と転戦し、ハリーさんは1945年5月10日に沖繩で戦死しています。25才でした。

依頼主デビッドさんは、ハリーさんの遠い親戚にあたり、すでに彼の祖父、父親は他界され、遺品の中に写真を発見し、福山さんへ連絡したとのこと。

福山さん自身も戦争を知らない世代ですが、今回の写真との出会いに、使命感を感じ、行動力を発揮して、サイパン在



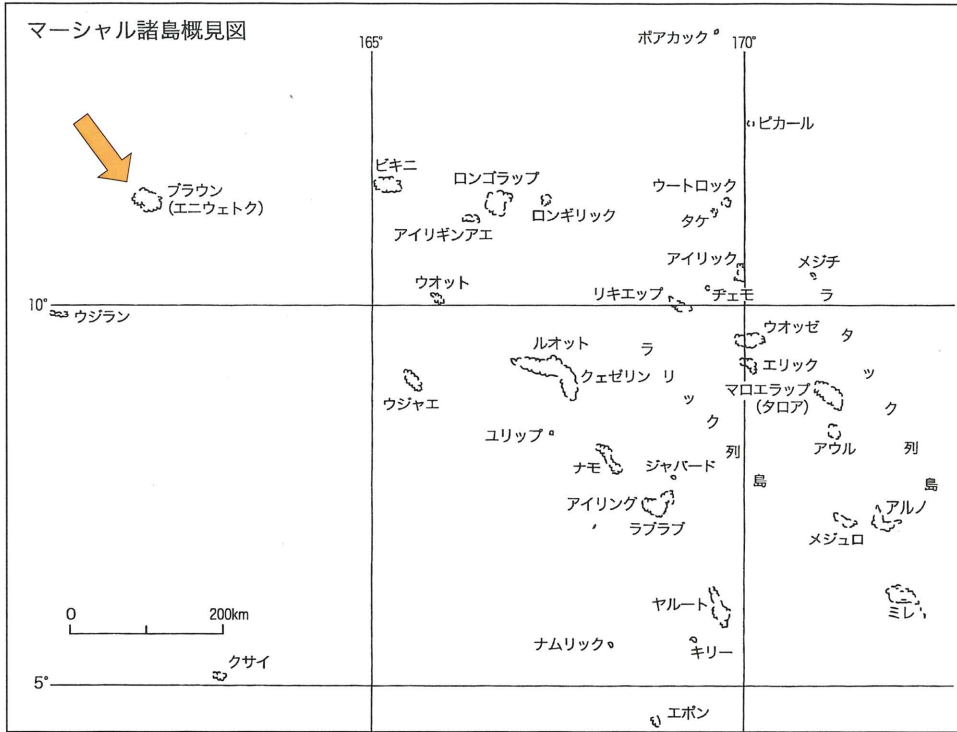
ハリー・R・ダイニンガーさん

住コーディネーター松本ウイリーさんから当会を紹介され、HPよりコンタクトした、という経緯です。

※写真は表紙、裏表紙に掲載。

写真は無記名であり、同環礁での日本側の戦死者は約3500名。写真の家族を探すのは容易ではありませんが、デビッドさんと福山さんの「家族に返したい」という熱意に感銘し、当会も最善の努力をしたいと思います。

(注・エニウエトクよりもブラウン環礁の呼称のほうが当会の歴史的に馴染むので、以降はブラウン環礁と記載します)



● ブラウン環礁地図  
マーシャル諸島の北西端に位置する環礁

ブラウン環礁の日本軍

ブラウン環礁			日本軍		アメリカ軍	
島名(日本名)	(アメリカ名)	玉砕	戦死者数	捕虜	戦死・行方不明者	負傷
エンチャビ	Engebi	19.2.19	1,276	16	85	166
エニウエトク	Eniwetok	19.2.22	800	23	37	94
メリレン	Perry	19.2.23	1,371	25	73	261
その他の島			12			
戦史叢書62より			3,459	64	195	521

ブラウン環礁の日本軍

守備隊(総計 約 3500名)	
陸軍	海上機動第一旅団主力(第1大隊、第3大隊、機関砲隊、戦車隊、工兵隊、通信隊、衛生隊)
海軍	第61警備隊分遣隊、第68警備隊(一部)、第952航空隊、第22航空戦隊派遣隊、第4施設部(芝浦)、第4気象隊派遣員、運輸本部派遣員

4月の役員会で5枚の写真を回覧し、高林会長より依頼を受けた当会役員・山村さん(英語が堪能)が中心となり、NYの福山さんと連絡をとりながら、調査・搜索を開始しました。

①島の特定が必要なため、手紙に記載されている「エニウエトク(ブラウン)環礁」の可能性が大きいと判断しました。第22海兵隊第一大隊の行動を調査したところ、1944年2月下旬から3月中旬にかけて手紙が出されたのは、クエゼリン島からと判明しています。

②会員で、ブラウン環礁の遺族は現在11名。お葉書で問合せしたところ、残念ながら「心当たりなし」のご回答でした。その中の4名よりコメントをいただきました。

・東京都 間々田征史様

ご連絡有難う御座います。残念ながら写真に見覚えはありません。私は平成27年マーシャル・ギルバート諸島慰霊友好親善訪問団の一員として参加しました。

・富山県 池田真一様

お手紙有難う御座います。恐らく私の祖父も、胸に写真を一葉大事に入れて、戦地に赴いたと思います、セピア色の写真を見るにつけ、目頭が熱くなりました。

・長野県 藤原和子様

父はよく若い兵隊さん達に「お父さん、お母さんに手紙を出すように、近況を知らせるように」と言っていたと母が私に話してくれました。写真の御親族が見つかるの良いですね。

・東京都 中村順子様

父は私が3歳の時に、戦死したので、家に残っている写真とは違っていて残念です。有難う御座いました。

③ 福山さんがメディア関係者にコンタクトし、ネットニュース等で紹介されました。

● ハフポスト日本版（ネットニュース）5月22日 トップに掲載。

「日本兵ゆかりの写真遺族を探す旅」

→このタイトルで検索すると記事がでます。

[https://www.huffingtonpost.jp/entry/news\\_jip\\_6099dde62e4b03e1dd387af56](https://www.huffingtonpost.jp/entry/news_jip_6099dde62e4b03e1dd387af56)

● Yahoo!ニュース（同記事）

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a9a6e0b4dact3e37669994ee35b53dc6b0445d196>



● 毎日新聞

ウェブ版・5月24日、紙面・5月25日に掲載

「77年前、米国に渡った5枚の写真」

「日本の家族に返したい」

→このタイトルで検索すると記事がでます。

<https://mainichi.jp/articles/20210524/k00/00m/040/213000c>

● テレビ朝日

「大下容子ワイド！スクランブル」  
8月2週目放送（予定）

④ 経年劣化により、写真裏の文字が消えた可能性も鑑み、手がかりがないか、福山さんから日本の国立歴史民俗博物館に赤外線調査を依頼しましたが、文字はありませんでした。

⑤ 沖縄「平和の礎※」米軍戦死者碑に、ハリーさんの刻名を確認しました。



DININGER HARRY RICHARD

※世界の恒久平和を願い、国籍や軍人、民間人の区別なく、沖縄戦などで亡くなられたすべての人々の氏名を刻んだ記念碑。

デビッドさんと福山さんは、「できれ

ば80年目となる2024年まで、または終戦80年となる2025年まで、探し続けた」と仰っています。当会も搜索を継続します。

77年の時を超えて日本にたどり着いた写真。7センチ×5センチほどの小さな写真ですが、遠い地で、日本兵が心の支えとして大切に持っていたものだと思います。そのご家族の搜索方法のアイデア、メディアへの伝手がある方は是非ご連絡ください。

皆さまからの情報提供をお待ちしています。

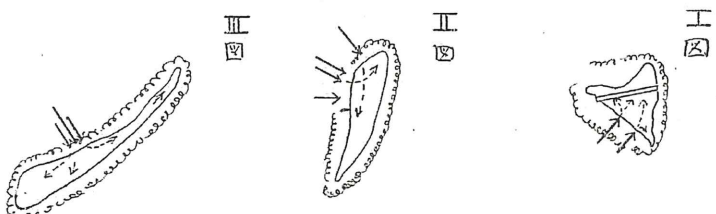
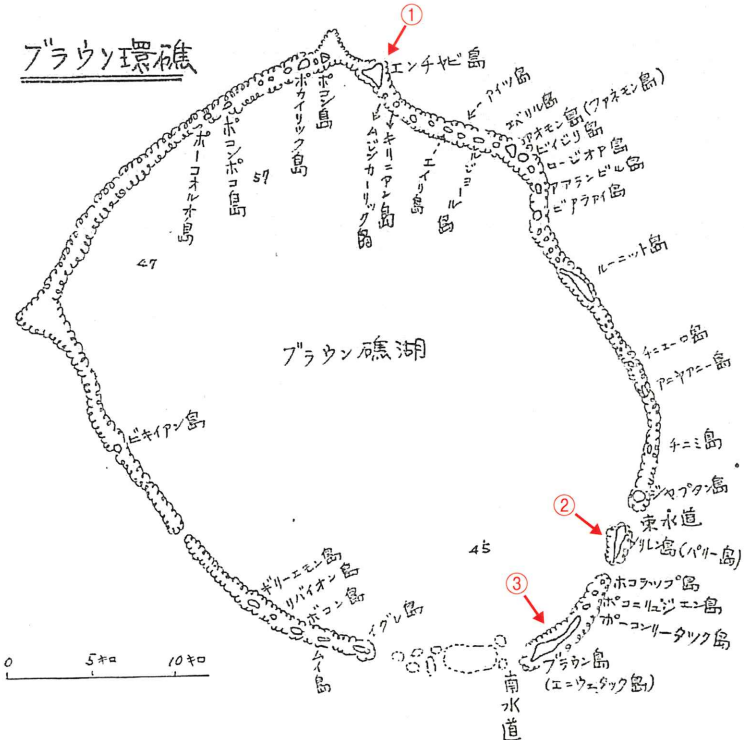
※現在、写真は高林会長が大切に保管しています。

※ブラウン環礁の遺族名簿

一週つて平成10年発行の当会の名簿には、当時46名のブラウン環礁のご遺族の名前がありました。しかし、すでにほとんどが他界し、現在は11名、その中には二代目の方もいます。23年前の登録住所に写真を送り、情報収集したい気持ちはありますが、亡くなった方宛に手紙を出す

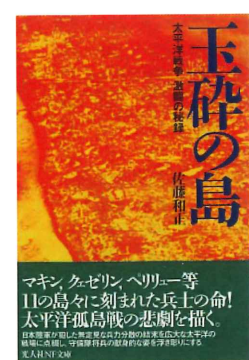
のは如何なものか、転居先不明や、個人情報の問題もありますので、次回の役員会で諮らうと思います。  
(高林)

★会報「環礁」第10号(昭和44年)にブラウンの戦いが記載されています。H



③ ブラウン島 (エ=ウエタツク島)      ② メリレン島      ① エンチャボン島

この地図は会報「環礁」第10号より抜粋



この本にもブラウン環礁エンチャボン島の戦いが書かれています。

Pのドキュメントよりご覧ください。

新入会員（ ）内は英霊との続柄

- ・原田記子様（孫）
- （石川県・木村様のご息女）
- ・古田誠一郎様（大甥）
- （東京都・大叔父がクエゼリンで戦死）
- ・中村佳子様（孫）
- （愛媛県・山村様のご息女）
- ・坂本公洋様（甥）
- （岡山県・叔父がクエゼリンで戦死）
- ・森田和子様（子の妻）
- （愛媛県・義父がクエゼリンで戦死）

ご入会ありがとうございます。

訃報

井上賀雄様（前会長）  
謹んでお悔やみ申し上げます。

井上賀雄さんを偲んで 高林芳夫



ます（享年89歳）

令和3年3月22日、前会長・井上賀雄さんが逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

ルオット島を守備する第24航空戦隊の海軍大佐だった父（井上梅二郎大佐）を亡くされた井上さんは、昭和38年の当会発足時より、役員として尽力され、初代会長・林 茂清さん、二代会長・村上義一さん、三代会長・浮田信家さん、四代会長・佐藤宗丕さんと、四代の会長を支え長年にわたり、当会の発展に寄与されました。

昭和43年、現地慰霊碑建立の際には、碑の製作や都道府県知事への「名石の送付依頼」等、大変ご活躍されました。慰霊碑はクエゼリン島に建立出来ました。が、当時、島は米軍の最重要ミサイル防衛基地であるため外国人の入国は厳しく制限され、我々遺族も入国できず、碑は立てたもののお参りに行くことが出来ませんでした。

慰霊碑の建立作業に関わった、基地で働く日系二世の徳原勇さんが、基地司令官に再三、遺族の心情を訴え続けてくれた結果、当時の司令官、アール・エル・ラッセルさんが軍の規則では不可能であった事を、ご自身の判断で遺族の上陸許可を出してくれました。慰霊碑建立か

ら7年目の昭和50年の事です。早速、遺族36名は羽田からハワイ経由でクエゼリンへ出発。ハワイで一泊、マーシャルの首都マジュロで二泊。当時、マジュロ島では36名もの日本人の来島は初めての出来事、島を挙げての大歓迎でした。

遡る昭和42年、現地事情調査で訪れた浮田信家・佐竹エス両名と交流のあった山村要様とも、そのときに再会が出来ました。山村要様は日系二世で、島のリーダーであり（後の大統領カサイ・ノートさんは娘婿）日本統治時代に日本の教育を受けた人です。

山村要様は「日本はなぜ教育勅語を無くしたのか」と嘆いておられました。私達が忘れていた、日本人の「心」が南の島国で生きていた事に私はショックを受けました。

翌日、マジュロから飛行機に搭乗、次の島がクエゼリンです。本来、クエゼリンには給油のためだけの着陸です。現地司令官の配慮で、特別に給油時間を延長してもらい、その間に島の西端に立てた慰霊碑にお参りするという慌ただしい慕

参りました。しかし、遺族にとって長年の夢であり、肉親が眠る島に初めて訪れた喜びに一同、感激しました。



そのときも井上さんは旅行幹事として、会員の世話や、打合せで忙しく活躍されました。今となつては当時の事情を知る唯一の人に旅立たれ、とても悲しい思いです。以後、クエゼリンへの墓参は司令官が代わつても前例に習う形で慰霊が続けられています。

今日まで会が存続出来たのも、井上さん達先輩方の努力のおかげです。

長い間ありがとうございます。只々感謝あるのみです。安らかに眠り下さい。  
合掌

千鳥ヶ淵戦没者墓苑拜礼式中止

5月31日に予定されていた式典は、緊急事態宣言期間延長のため中止となりました。

令和3年度 寄付者芳名(敬称略)

2月1日～5月31日迄

- ※5万円※ 愛媛県 森田和子 ※2万円
- ※ 福島県 富田キミ 埼玉県 高林芳夫
- 高知県 橋本勝彦 ※1万円※ 新潟県
- 渡辺美枝子 千葉県 腰川妙子 東京都
- 井上賀雄 番場信子 内海淑子 長野県
- 山口康憲 ※7千円※ 千葉県 廣原 貫
- 東京都 保延 務 大串直行 山梨県 黒
- 川正文 岐阜県 吉田正明 岡山県 坂本
- 公洋 広島県 奥井國夫 愛媛県 長岡俊
- 夫 渡部 守 高知県 藤田洋子 香川県
- 石川正興 熊本県 上村秀樹 ※5千円※
- 東京都 小林すみ子 古田誠一郎 埼玉県
- 大井和子 小松順子 齊藤玲子 長屋綾子
- 小室洋子 香川県 富田佳代子 沖縄県
- 宮城 勇 ※3千円※ 岩手県 小山浩二
- 宮城県 安藤としえ 静岡県 大畑幸夫
- 山口県 安藤正子 ※2千円※ 岩手県
- 佐藤享三 宮城県 佐藤 勉 福島県 酒
- 井則夫 古市キノ 新潟県 山田昭雄 本
- 保美恵子 神奈川県 鈴木友季子 榎本益
- 朗 千葉県 東 邦義 泉水堯恵 中村佳
- 子東京都 米林義昭 鈴木千春 高坂和靖

- 浜田つき子 中村順子 瀬戸隆子 山口良
  - 二 埼玉県 小野博孝 鈴木裕子 山梨県
  - 吉原太郎 長野県 宮下勤子 富山県 廣
  - 島正光 石川県 小林ヨシ子 岐阜県 堀
  - 尾洋平 京都府 都地井義則 広島県 藤
  - 本泰子 愛媛県 山村一郎 高知県 西岡
  - 純一 福岡県 下釜正義 ※1千円※ 千
  - 葉県 相川孝夫 東京都 間々田征史 千
  - 田啓子 居戸和由貴
- ※総額37万5千円のご寄付をいただきました。

誠にありがとうございました。

事務局からのお願い

・会費の納入をお忘れの方は、お早めにお願いたします。当会は皆様の会費で運営しております。何卒ご協力のほど、お願い申し上げます。

・現在、当会が高齢の遺児が中心となつて、事務仕事や会報の発送作業などを行っております。東京近郊にお住まいの方で、作業のお手伝いを協力していただけの方を募集しています。

情報提供のお願い  
写真の家族を探しています



写真③

依頼人のデビッドさん  
ペンシルベニア州在住の弁護士  
写真と母親宛のハリーさんからの手紙の束



写真②



写真④



写真⑤